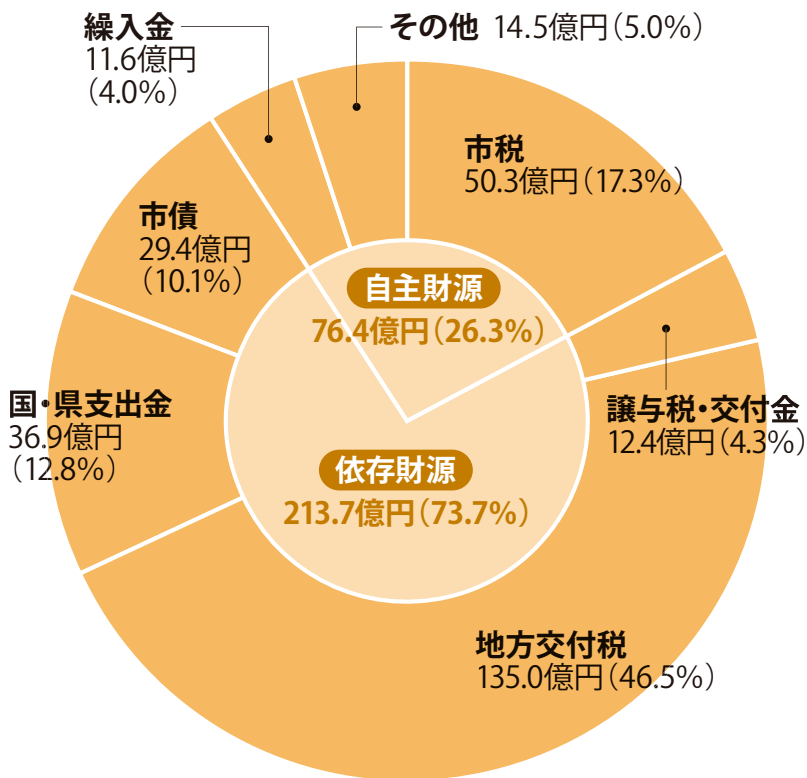


一般会計

歳入 290億1,000万円



※()内は構成比

● 歳入の特徴 ●

- ・市税…真庭産業団地への企業誘致の成果として固定資産税の増収など、前年度比1.6%増。(50.3億円)
- ・地方交付税…合併特例措置の終了に伴う段階的な縮減の影響が大きく前年度比2.5%減。(135.0億円)
- ・繰入金…「真庭市未来を担う人応援基金」「ふるさと真庭応援基金」「公共施設整備等基金繰入金」のほか、一般財源不足を補うため「財政調整基金」の繰入を計上。前年度比73.9%増。(11.6億円)

平成30年度予算
290億1,000万円(一般会計)を
市民1人当たりになると

629,393円
(1円未満切り捨て)

※平成30年4月1日現在の人口46,092人で算出

市税や使用料など市が自主的に収入する「自主財源」は、3割未満。それ以外は県や国などからの「依存財源」で賄われているんだ。



自主財源
165,530円
(26.3%)

依存財源
463,863円
(73.7%)

平成30年度予算

都市にはないが、真庭にはある豊かな暮らし「真庭ライフスタイル」の実現。全ての施策をつなげ取り組む究極の課題である「人口減少」への対策。これらのことに真正面から向き合うべく、編成された当初予算と重点事業を紹介します。

特別会計と公営企業会計

特別会計	130億6,387万円(△7.8%)
国民健康保険	49億4,019万円(△20.9%)
後期高齢者医療	7億7,909万円(5.4%)
介護保険	60億2,005万円(0.8%)
介護保険(介護サービス事業勘定)	5,029万円(4.2%)
簡易水道事業	10億359万円(10.0%)
浄化槽事業	9,285万円(△0.7%)
津黒高原観光事業	2,866万円(13.5%)
クリエイト菅谷事業	875万円(29.8%)
温泉事業	1億4,040万円(18.1%)

公営企業会計	66億2,591万円(△9.7%)
農業共済事業	3億89万円(6.3%)
水道事業	11億7,858万円(△29.2%)
下水道事業	33億8,747万円(△6.6%)
国民健康保険 湯原温泉病院事業	17億5,897万円(△0.5%)

※()内は対前年度比

特別会計、公営企業会計
の不足分は一般会計から
繰出しておるのじゃ。



一般会計から
特別会計への繰出金

国民健康保険	4億3,350万円
後期高齢者医療	2億9,409万円
介護保険	8億9,782万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	3,131万円
簡易水道事業	3億9,304万円
浄化槽事業	7,563万円
津黒高原観光事業	2,856万円
クリエイト菅谷事業	875万円
温泉事業	2,108万円
合計	21億8,378万円

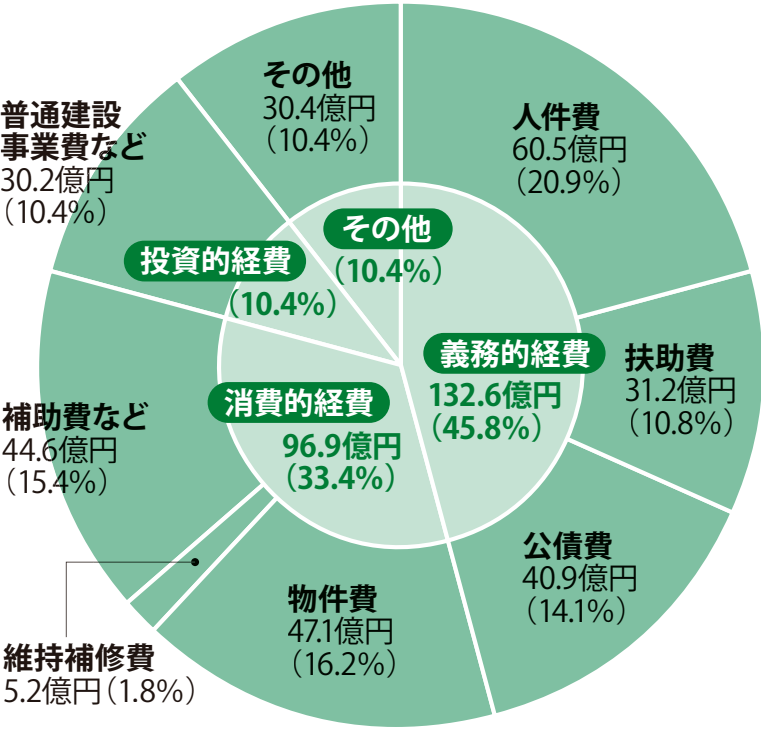
一般会計から公営企業会計への補助金

農業共済事業	—
水道事業	9,326万円
下水道事業	13億8,844万円
国民健康保険湯原温泉病院事業	3億4,805万円
合計	18億3,975万円



次のページから
いよいよ重点事業
の紹介だ！

一般会計 歳出 290億1,000万円



※()内は構成比

歳出の特徴

- ・義務的経費…定員適正化計画に基づく職員数の減少などにより、前年度比0.04%減。(132.6億円)
- ・消費的経費…保育需要の増加に伴う臨時職員賃金の増加、真庭産業団地への企業誘致に伴う奨励金や補助金の増加により前年度比4.5%増。(96.9億円)
- ・投資的経費…北房小学校、北房こども園、中央図書館、真庭火葬場などの大型建設事業の終了などにより前年度比50.0%減。(30.2億円)



歳出予算1人当たり629,393円の
使い道を目的別に見てみましょう。

議会費 4,985円	総務費 81,817円	民生費 163,553円	衛生費 61,004円	農林水産業費 38,087円
商工費 18,680円	土木費 65,894円	消防費 24,978円	教育費 63,630円	災害復旧費65円 公債費 88,690円 その他 18,010円

平成30年度重点事業

近き者悦び、 遠き者来るまちづくり

真庭市は平成30年度を永続的な発展の基礎づくり元年と位置づけ、「安全・安心で魅力的な地域づくり」、「力強い循環型の地域経済づくり」、「持続可能な真庭の環境づくり」、「夢ある子育て『ひと』づくり」と豊かな文化づくり」を4つの柱に、「近き者悦び、遠き者来るまちづくり」に向け事業を行います。



安全・安心で 魅力的な地域づくり

安全・安心な暮らしが送れるように生活環境を改善。また、若者から熟年者までが活躍できる地域づくりを行います。

▼真庭エコライトシティ事業

29949万円

防犯灯、街路灯をLED照明へ。
1自治会年間10基まで1基あたり8000円を上限に補助します。市が管理する防犯灯、街路灯、公共施設の照明についても随時更新をします。
※「持続可能な真庭の環境づくり」にも該当



▼市民の安全・安心向上事業

3679万円

災害時の河川状況などを「見える化」するライブカメラを高感度カメラ

▼関係人口構築事業

1003万円

ラに更新し、データ放送システムを導入します。また、湯原保健福祉センターを改修し、消防湯原分署の移転に向け設計を行います。複合施設として公共施設の維持管理コストを縮減するとともに、ドクターカーとの連携をスムーズにします。

地域主体の空き家等の整備や活用により、移住希望者や二地域居住者が共有できる場（お試し住宅・共同オフィスなど）や体験プログラムを提供する仕組みづくりを行います。

また、出身者や大学生など真庭に関心を持つ人々に伝統行事や地域活

動などの魅力的な活動機会を提供していきます。

これらの取組などを通じて実際に真庭で活躍した人を「関係人口」として捉え、継続的に活動機会を提供する仕組みを構築し、多様なツールを活用し、イベント・暮らしづくり・地域活動などの情報発信を行い、「関係人口」の増加を目指します。



▼地域資源を生かした地域振興事業
2303万円

各振興局単位での地域振興事業の実施や、地域と地域をつなげる交流会などを開催します。



蒜山振興局

▼千年続く山焼きを次の千年に

470万円

山焼きを継承していくため、企業版ふるさと納税を活用し、防火帯整備、山焼き支援の体制を構築していきます。

伝統工芸である「郷原漆器」「ガマ細工」の原料が将来枯渇することを防ぐため、ヤマグリ、シナノキ、ウルシを栽培し、30年サイクルで循環できる里山を整備します。

湯原振興局

▼湯原の魅力を発見！

237万円

二川地区で、移住者受け入れ体制づくり、地域資源の付加価値を高めるガイドパンフレット作成や、移住定住に関するワークショップを実施します。

中世式内八社を観光資源として活用し、訪れる観光客にPRするとともに、神輿担ぎ手大学生招致事業、ボランティアガイド事業、地域資源活用事業等を行います。

美甘振興局▼地域ぐるみ支援システム 小さな拠点づくり

193万円

地域主体で運営できる地域ぐるみ支援システム(小さな拠点)づくりのため、地域産業強靱化、産品流通システム、暮らしサポートの仕組みを構築。また、企業版ふるさと納税により、山焼き復活プロジェクトの実施や、地域交流により資源再生・活用を図り、新たな観光ツールを構築します。



久世振興局

▼中心市街地景観創造

145万円

サイクリングロードのターミナルとなる久世駅「木テラス」を情報発信拠点、町の入り口として、中心市街地の景観創造を地域住民とともに考えていきます。

檜邑地区で、上野こうげの活用、特産品「菜種油」の開発、地域資源マップ作成を行い、余野地区では、「高仙の里よの」での体験プログラム提供や、高仙登山イベント復活に取り組みます。

勝山振興局

▼勝山情報発信！勝山ペディア

249万円

勝山カレッジプロジェクトとして、高校・大学と連携して勝山ペディア事業(ウィキペディアタウン)を実施し、地域の歴史や文化、観光資源の情報収集、整理、発信を行います。

町並み活性化の実践として、地域が主体となった空き家活用の取り組みを支援していきます。

落合振興局▼地域と大学生と企業をつなぐ課題解決プロジェクト
153万円

全国から大学生などを募り、地域課題を共有した上で、地域住民と大学生と企業などを繋ぐ地域課題解決プロジェクトに取り組みます。

また、地域内の企業や団体が、交流し、地域について語る場を作っていくとともに、地域活動の連携を移住定住に繋げる取り組みを行います。

北房振興局▼滞在型観光とインバウンド(農泊推進事業)
856万円

滞在型観光のプログラム化や外国人観光客の呼び込みなどを行う農泊を推進。また、その一環で、空き家等の活用調査結果を踏まえ、商店街の活性化事業に取り組みます。

また、湯原地域の旭川荘と連携したすっぽんの活用(流通システムの構築)と北房キムチやホタルうどんなど合わせた食による魅力発信事業、もみじ公園を活用したアウトドアをキーワードとした新たな交流事業にも取り組みます。





力強い循環型の 地域経済づくり

多彩な地域資源を活用し、地域内の経済循環を生み出します。企業などを呼び込むとともに、市内での連携や発展を目指します。

▼魅力ある働き方実現事業
(U-Jターン対策) 844万円

若者が希望する職種の求人が少ないことが人口減少の一つの要因と推測されるため、求職者の多い職種の誘致に向けた調査事業を実施します。

真庭市の強み（優秀な人材）や企業などの地方進出動向についての調査を実施し、その調査結果を戦略的な企業誘致につなげます。

▼真庭観光局設置・魅力ある観光
真庭推進事業 6767万円

新たな観光振興体制となる「真庭観光局」を官民共同で設立し、真庭のブランド構築により交流人口や観光入込客数を増加させ、地域の持続的発展を目指します。

ブランドコンセプトをもとに、統一的な情報発信、滞在旅行商品の開発と特産品開発などで地域内連携のコーディネートを担い、「観光地域づ

くり」による地域内経済循環を推進します。

▼女性のしごと応援事業

101万円

地域経済の底上げには女性の労働力が必要ですが、結婚や出産などで仕事を辞める働き盛りの女性が多いのが現状です。女性と企業が一緒に「家庭と仕事が両立できる働き方」を考え、女性が活躍できる真庭の実現を目指します。

※「真庭市未来を担う人応援基金」活用事業



持続可能な 真庭の環境づくり

自然再生エネルギーの自給率を高めると同時に、省エネルギー施策も実施し、「エネルギーエコタウン真庭」を目指します。

▼生ごみ等資源化施設整備事業
(液肥プラント建設) 1662万円

市内全域の生ごみ・し尿・浄化槽汚泥を資源化する「生ごみ等資源化施設」に地域の提案を反映し、地域ぐるみの資源循環拠点施設の建設を目指します。

資源化施設建設候補地の選定、施設整備に向けた各種計画策定に取り組みとともに循環型農業の推進を図ります。

▼クールチョイス推進事業

315万円

クールチョイスとは、地球温暖化防止のため、私たち一人ひとりが「地球のことを考え、賢く行動しよう」という取り組みです。再生可能エネルギーへの理解を深めるなど、クールチョイスの普及啓発を図ります。

▼バスナビガイドシステム
導入事業 503万円

インターネットで地図上に、バスの位置情報を表示する「バスロケーションシステム」の構築。スマートフォン、パソコンから手軽にバスの位置情報などを確認できるようにします。

▼旭川サイクリングロード(仮称)
整備事業 9400万円

「健康」「観光」「環境」など新たな価値観で見直されている自転車の活用を推進するため、旭川を軸に、勝山・久世・落合を回遊できるサイクリングロードを整備します。

さらに、地域住民や自転車愛好家の意見を反映し、「蒜山高原自転車道ルート」など岡山県のサイクリング推奨ルートと合わせ愛着の持てるサイクリングロードにしていけます。



夢ある子育て 「ひと」づくりと 豊かな文化づくり

子育て、教育、文化などの施策を充実させるとともに、次世代を支える人材の育成と招致を図ります。

▼子どもの健康を守る予防接種費軽減事業 725万円

幼児・学童インフルエンザ予防接種の費用助成の公費負担を増額し、接種率向上を図ります。また、胎児の障害を招く先天性風疹症候群を防ぐため、抗体価の低い妊娠を希望する女性や妊婦の家族などが接種する風しん予防接種費用を全額助成します。

▼中学校英検補助事業 53万円

英語学習の充実、生徒の英語力向上のため、中学生の英検3級以上の受験料の2分の1を補助します。
※「真庭市未来を担う人応援基金」活用事業

▼学校空調設備整備事業 1098万円

平成34年度末までに小中学校の全

普通教室と使用頻度の高い特別教室に空調設備を整備します。地球温暖化による気温上昇に対応し、熱中症予防など児童生徒の健康管理と、快適な学習環境の提供を行い、夏季の補修授業や学校行事の支援をします。

▼明治の学び舎(旧遷喬尋常小学校)活用検討事業 91万円

西日本を代表する明治の学び舎である「旧遷喬尋常小学校校舎」は、築111年を迎える国指定重要文化財です。この貴重な歴史遺産を将来にわたって保存していくとともに、更なる活用を図るべく、整備・活用に向けた構想を策定します。



安全・安心で 魅力的な地域づくり



力強い循環型の 地域経済づくり

都市にはないが真庭にはある豊かな暮らし
「真庭ライフスタイル」の実現を目指し、
全ての施策を人口減少対策につなげます。



持続可能な 真庭の環境づくり



夢ある子育て 「ひと」づくりと 豊かな文化づくり

